

学校運営協議会評価部会(第1回)				日時 令和6年6月16日(日) 14:00～15:00	
司会	副校長	記録	安斎	開催場所	定時制会議室
欠席者	北井 淳一 委員(藤沢市立藤沢第一中学校 校長) 柳原 慎平 (定時制 教育計画グループ 総括教諭)				
○出席委員・出席者					
岡明 秀忠 委員(明治学院大学 教授)					
吉川 亮 委員 (神奈川工科大学 教職教育センター支援室)					
小宮 龍一 委員(神奈川大学 非常勤講師)					
近 尚昭 委員 (藤沢市立本町小学校 校長)					
井出 祥子 委員(藤沢公民館 館長)					
藤原 寛充 委員(全日制PTA会長)					
松本 牧子 委員(定時制PTA会長)					
田中 和也 (校長)					
島 武彦 (副校長)					
高山 貴子 (全日制 教頭)					
倉田 幸治 (定時制 教頭)					
吉田 恵理子(事務長)					
山元 悠 (全日制 教育計画グループ 総括教諭)					
安斎 洋祐 (全日制 生徒活動支援グループ 総括教諭：記録)					
川村 靖 (全日制 生徒生活支援グループ 総括教諭)					
中山 拓憲 (全日制 進路支援グループ 総括教諭)					
有里 修 (全日制 広報・交流グループ 総括教諭)					
田村 裕司 (全日制 管理・運営グループ 総括教諭)					
菅間 雪枝 (定時制 生徒支援グループ 総括教諭)					
三橋 健彦 (定時制 管理運営グループ 総括教諭)					
1 委員及び出席者紹介					
2 校長挨拶					
・文化祭について、学校運営協議会での評価について					
3 年間予定の確認：副校長より					
・学校運営協議会の趣旨説明、年間予定の確認					
4 <評価部会>学校の取組について					
ア 全日制					
今年度の学校目標について：各グループリーダーより					
教育活動の取組状況について：教頭より					
イ 定時制					
今年度の学校目標について：各グループリーダーより					
教育活動の取組状況について：教頭より					
ウ まなびや基金による多目的ホールの整備について：事務長より					
5 質疑応答→回答					
岡明委員：リーダーシップの育成は授業の中で特化して行う方法もあると思うがどうか。					
→ 実際の授業の中で特化して実施するのは難しい。サマースペシャル(夏季講習)や探究活動などでリーダーシップの育成を図る。					
藤原委員：学校管理・運営について全職員、全生徒はAEDの位置を把握しているか。					
→ 教職員には7月に研修予定、生徒は保健の授業の中で周知している。					
松本委員：全日制の入学式新入生保護者アンケートの質問1は、生徒に直接聞いてもよいのでは。					
→ 進路の生徒アンケートで似たような質問項目がある。					
6 その他					
特になし					

学校運営協議会地域連携部会(第1回)				日時 令和6年6月16日(日) 15:10～16:00	
司会	副校長	記録	三橋	開催場所	定時制会議室
欠席者	北井 淳一 委員(藤沢市立藤沢第一中学校 校長)				
○出席委員・出席者					
近 尚昭 委員(藤沢市立本町小学校 校長)					
井出 祥子 委員(藤沢公民館 館長)					
藤原 寛充 委員(全日制 P T A会長)					
松本 牧子 委員(定時制 P T A会長)					
田中 和也(校長)					
島 武彦(副校長)					
高山 貴子(全日制 教頭)					
倉田 幸治(定時制 教頭)					
吉田 恵理子(事務長)					
有里 修(全日制 広報・交流グループ 総括教諭)					
田村 裕司(全日制 管理・運営グループ 総括教諭)					
菅間 雪枝(定時制 生徒支援グループ 総括教諭)					
三橋 健彦(定時制 管理運営グループ 総括教諭:記録)					
1 委員および出席者紹介(学校運営協議会で実施)					
2 年間予定の確認(学校運営協議会で確認済)					
3 学校の取組について					
ア 全日制 地域連携の目標と取組について(有里総括教諭)					
・グループ目標にも地域との協働を掲げているが、学校全体での取組は難しく、部活動等を通じた活動になっている。					
・令和6年度の広報活動の年間計画については、地域連携部会2ページの資料を参考にして欲しい。中学生向けの学校説明会を精力的に開催している。					
・ホームページを通じての広報活動についても力を入れている。					
イ 定時制 地域連携の目標と取組について(三橋総括教諭、菅間総括教諭)					
・定時制の地域貢献デーの内容については、地域連携部会3ページの資料を参考にして欲しい。					
・今年度は本校で10月と1月に開催していた学校説明会のうち、11月を10月に早めた。また従来の定時制のイメージが、中学生だけでなく、教員やスクールカウンセラーにも強いと思われるため、旧学区の中学校に向けて案内状を送付するなどの活動を行っている。					
・藤沢市では小中高の学校警察連携の会議が年に2回開かれているが、情報交換会では不登校が大きな話題になっている。現在の定時制の落ち着いた状況を伝え、選択肢の一つとして検討してもらえるように努めている。					
4 質疑応答					
Q1: 防災訓練はどのようなになっているのか。また関連して、生徒在校時に災害が生じた場合に、湘南高校は地区の避難先でもあるが、生徒が被災者を助けられるか。					
A1: 全定ともに避難訓練を実施している。また災害に備えた防災備蓄品も生徒用をストックしている。被災者に対する救援に関して、マニュアル等があれば教えてもらいたい。					
※これについて、マニュアル等については、自治体任せであるが、発災時の生徒による救援は市でも大きなテーマになっているので、公民館に相談してもらいたいとの助言を井出委員よりいただく。また近委員より、市内の小学校ではマニュアルに基づく避難訓練を行っているが、上記の点が大きなテーマになっているとの意見をいただく。松本委員から鎌倉市の海が近い学校では、修学旅行なども含めて防災教育に取り組んでいるとの意見が出される。					
Q2: 盛況だったというパシフィコでの全公立展の案内マップをみると、厚木清南高校のみ括弧書きで(全)(定通)などの表示がある。湘南など他の定時制併置校も(全)や(定)などの表示を入れれば、定時制の存在が意識してもらえるのではないか。					
A2: 定時制のアピールは本校単独で行うだけでなく、定時制教頭会や、定時制校長会などの横のつながりも活かして実施していきたい。(校長)					
Q3: 学校は地域からみて、最もわかりやすい公共施設であるが、湘南高校に対する地域からの苦情等はあるのか。					
A3: 全日制の自転車通学、歩きスマホなど、苦情は頂いている。そのような負の訴えの方が多いが、信号を渡れずに困っている高齢者を助けたなどもある。					